

# 注意事項

## ◆ 申請者資料

1	入学願書	<p>①本人が直筆で記入し、サインをし、印鑑を押してください。</p> <p>②写真は3ヶ月以内に撮影したもので、卒業証書とは違うものにして下さい。</p> <p>③学歴の欄は小学校から最終学歴まで全ての学歴を記入して下さい。空白期間がないようにして下さい。</p> <p>④ご家族の方は漏れがないように記入し、職場や学校、その住所等、細かく記載して下さい。</p> <p>⑤就学理由は日本語の翻訳が必要です。</p>
2	証明写真 (5枚)	<p>①4センチ×横3センチ、正面無帽で3ヶ月以内に撮影したものにして下さい。</p> <p>②写真の裏に名前を記入して下さい。</p> <p>※デジタルカメラ、カラーコピー不可。</p>
3	卒業証書 (原本)	<p>①原則として小学校6年、中学校3年、高校3年教育制度とします。そうでない方は公的な証明書を提出して下さい。</p> <p>②卒業校の名称、校長名、住所等が変わった場合は、その証明書を提出して下さい。</p> <p>③全ての証明書に日本語の翻訳が必要です。</p> <p>④入国管理局に提示した後、返却いたします。</p> <p>※大学又は高校卒業予定者は卒業見込み証明書、在学証明書を提出して下さい。</p>
4	成績証明書 (原本)	<p>①校と最終学歴の全ての学年の成績証明書を提出して下さい。</p> <p>②日本語の翻訳が必要です。</p>
5	パスポート (コピー)	<p>パスポートを持っている方のみ提出して下さい。日本に入国したことがある方は、入国歴が記載してあるページ及びビザのページを提出して下さい。</p>
6	日本語学習 証明書	<p>①日本語教育機関での150時間以上の学習証明書を提出して下さい。証明書には、学習時間、成績、使用教材等を細かく記載して下さい。</p> <p>②現在日本語教育機関に在学中の学生は、修了見込み時間を明確に記載して下さい。</p> <p>※最終学歴が高校卒業の方は、次のいずれかの合格証が必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語能力試験4級以上</li> <li>・日本留学試験150点以上、</li> <li>・J-TEST F級以上</li> <li>・日本語NAT試験5級以上</li> </ul>
7	誓約書	<p>本人が直筆で記入し、サインをし、印鑑を押して下さい。</p>
8	入寮申請書	<p>入寮する方のみ必要です。</p>
9	戸籍謄本	<p>入国管理局に提示した後、返却いたします。</p> <p>※戸籍謄本がない国の場合は、それに準じるもの。コピーの場合には返却はいたしません。</p>
10	身分証明	<p>①身分証のコピー</p> <p>②在学証明書、又は在職証明書など。</p>

## ◆ 経費支弁者資料

### <経費支弁者が日本国外在住の場合>

1	経費支弁書	①本人が直筆で記入し、印鑑を押して下さい。 ②経費支弁者が申請人本人の場合は不要です。 ※日本語の翻訳が必要です。
2	預金残高証明書	①必ず経費支弁者本人の名義の銀行口座を提出して下さい。 ②日本円で150万円相当以上の残高証明書が必要です。(現地通貨でも可)
3	在職証明書	①手書きの在職証明書は認められません。 ②職場の住所、電話番号、勤務内容、勤務期間等を細かく記載して下さい。責任者のサインと印鑑が必要です。 ※自営業の方は営業許可書、及び営業の内容がわかる公的文書を提出して下さい。
4	収入証明書	収入の内容がわかる文書を提出して下さい。職場の代表者のサインと印鑑が必要です。 ※副業をしている方はその収入証明書も提出して下さい。
5	納税証明書	過去三年分の納税証明書を提出して下さい。
6	親族関係公証書	①申請人と経費支弁者の関係を立証する書類を提出して下さい。経費支弁者、及び申請人の氏名、性別、生年月日、血縁関係等が明確に記載されているものがが必要です。 ②記載内容は願書及び戸籍簿と一致しなければなりません。
7	預金通帳 (コピー)	①必ず経費支弁者本人の名義の銀行口座を提出して下さい。 ②銀行口座の名義が記載されたページから出入金が記載されている最後のページまでコピーして下さい。
8	留学資金 調達書	①申請者の経費の調達方法を、細かく記入して下さい。 ②副業をしている方、またその他の固定資産がある方はそれも記入して下さい。
9	戸籍謄本	家族の全成員が記載されたものを提出して下さい。

### <経費支弁者が日本国内在住の場合>

1	経費支弁書	①本人が直筆で記入し、印鑑を押して下さい。 ②経費支弁者が申請人本人の場合は不要です。
2	住民票	家族の全成員が記載された住民票を提出して下さい。
3	在職証明書	会社の公印があるものを提出して下さい。
4	課税証明書	年収が記載されているものを提出して下さい。
5	関係証明書	「親族関係証明書」、「戸籍謄本」、「出生証明書」など、公的な文書を提出して下さい。 経費支弁者及び申請人の氏名、性別、生年月日、血縁関係などが明確に記載されているものがが必要です。 ※経費支弁者が申請者と血縁関係にない場合は、経費支弁者と申請者の関係を詳細に記した理由書が必要です。
6	預金残高証明証	申請人が日本で留学している間必要な経費(150万円以上)の残高証明が必要です。
7	預金通帳 (コピー)	①必ず経費支弁者本人の名義の銀行口座を提出して下さい。 ②銀行口座の名義が記載されたページから出入金が記載されている最後のページまでコピーして下さい。
8	留学資金 調達書	①申請者の経費の調達方法を、細かく記入して下さい。 ②副業をしている方、またその他の固定資産がある方はそれも記入して下さい。